

ソフトウェア

以下のリストは、特定のソフトウェアに適用される追加の利用規約を示す。各製品項目は、かかる製品に適用される 1 つまたは複数の脚注を示す。脚注は、本契約の条件を補足する。各脚注の定義はリストの後に記されている。該当する注文関連ドキュメントで特に断りのない限り、ソフトウェアの機能拡張は、対応するソフトウェアに対して許可される使用範囲に準拠する。

デスクトップ製品

- ArcGIS Desktop (Advanced、Standard、または Basic) (26)
- ArcGIS Earth (65)
- ArcGIS Explorer Desktop (20)
- ArcGIS for AutoCAD (20)
- ArcPad (13)
- ArcReader (20)
- ArcGIS for Windows Mobile (15、 54)
- ArcGIS for Personal Use (3、 26)

サーバー製品

- ArcGIS Enterprise
 - Basic (17)
 - Standard または Advanced (17、 21、 31)
 - Workgroup Standard または Advanced (21、 28、 29、 30)
 - ArcGIS GIS Server (Standard または Advanced) (31)
 - ArcGIS GIS Server Basic (39)
 - ArcGIS GIS Server Workgroup (Standard または Advanced) (28、 29、 30)
 - ArcGIS GIS Server Workgroup Basic (39)
 - ArcGIS GIS Server Extension
 - ArcGIS for Maritime: Server (2)
 - ArcGIS Image Server、 ArcGIS GeoEvent Server、 ArcGIS GeoAnalytics Server (4)
- Esri Business Analyst for Server
 - Workgroup (28、 29、 30、 31、 39)
 - Enterprise (31、 39)
- World Geocoder for ArcGIS (67)

開発者ツール

- AppStudio for ArcGIS Standard (11、 16、 19)
- ArcGIS Runtime SDK for Android、 iOS、 Java、 macOS、 .NET、 Windows Phone、
- ArcGIS Runtime Basic Level for Android、 iOS、 Java、 Mac OS X、 Microsoft .NET Framework (Windows [desktop]、 Windows Phone、 Windows Store) 、 Qt、 WPF (1)
- ArcGIS Runtime Basic Level、 Standard Level、 Advanced Level、 Analysis Extension for Android、 iOS、 Java、 Mac OS X、 Microsoft .NET Framework (Windows [desktop]、 Windows Phone、 Windows Store)、 Qt、 WPF (15、 18)
- ArcGIS Engine Developer Kit および Extensions (16、 19、 22、 26)
- ArcGIS Engine for Windows/Linux およびエクステンション(15、 22、 26)
- ArcGIS Web Mapping (ArcGIS API for JavaScript/HTML5、 ArcGIS API for Flex、 ArcGIS API for Microsoft Silverlight を含む) (15、 16、 64、 66)
- ArcGIS Developer Subscription (24、 26)

- ・ Esri File Geodatabase API (47)

モバイル

- ・ Navigator for ArcGIS (14)

脚注：

1. ダイレクトコネクションによるエンタープライズ ジオデータベースの編集には使用できない。
2. ナビゲーションには使用しないものとする。
3. 個人使用に対してのみ使用許諾される。
4. ArcGIS Enterprise Workgroupと併用時
 - 4コア サーバー1台に限定される。
 - 独立したマシンにインストール可能
- 5-10. 保留。
11. AppStudio for ArcGIS Standardで構築されたアプリケーションは、ArcGIS Runtime Standard Levelの利用規約に従うものとする。
12. 保留。
13. 二重用途ライセンスとして使用が許諾される。
14. ナビゲーション目的での使用が許可される。
15. デプロイメント ライセンスとして使用が許諾される。
16. 顧客はSDKまたはAPIを使用して付加価値アプリケーションを作成し、輸出規制で禁じられていない場所で使用するエンド ユーザーに対して、当該付加価値アプリケーションを配布およびライセンス付与できるものとする。
17. 顧客は本製品に含まれる Oracle JDBC Driver またはそのドキュメンテーションを再配布してはならない。Oracle は本契約の第三者受益権者である。
18. デプロイメント ライセンスは、独立したアプリケーション用のマシン1台の付加価値アプリケーション1つにつき1つである。
19. ライセンスを、インターネットベースまたはサーバーベースの付加価値アプリケーションの開発に使用することはできない。
20. 再配布ライセンスとして使用が許諾される。
21. 顧客は、顧客の指定ユーザーによる使用を目的として付加価値アプリケーションを構築できる。顧客は、(i) 付加価値アプリケーションに指定ユーザーの資格情報を組み込んでではなく、(ii) 付加価値アプリケーションにアプリケーション ログイン資格情報の組み込みまたは使用を行ってはならない。顧客は、(a) 資格情報を使用しない付加価値アプリケーションへのパブリック アクセスまたは(b) 一意で個別の指定ユーザー ログイン資格情報を使用したアクセスを許可することができる。
22. a. 1台のマシン上でArcGIS Engineアプリケーションを実行する権利を取得するためには、エンド ユーザーは、ArcGIS Engine for Windows/Linuxソフトウェアまたはその他のArcGIS Desktopソフトウェア (Basic、Standard、Advanced) のいずれかのライセンスを取得しなければならない。
b. ArcGIS Engine付加価値アプリケーションを実行する場合、ArcGIS Engine for Windows/LinuxエクステンションをArcGIS Desktopソフトウェアと組み合わせ使用してはならない。単独使用のユーザーは、当該エンド ユーザーのみが使用するマシン1台に複数のArcGIS Engine 付加価値アプリケーションをインストールすることができる。
23. 保留。
24. ソフトウェアは、プロトタイプ付加価値アプリケーションの開発、試験、立証およびマップ キャッシュの作成のみを目的としてのみ使用できる。顧客は、付加価値アプリケーションとマップキャッシュを、ArcGIS Enterprise ステージング サーバー ライセンスおよびデプロイメント サーバーライセンスで使用できる。ソフトウェアおよびデータは、Builder 以上のプランを契約しているすべての ArcGIS Developer Subscription 契約者が使用する目的で複数のマシンにインストールしてもよい。他のすべてのソフトウェアは、単独使用ライセンスとして使用が許諾される。
25. 保留。
26. ジオデータベースは、顧客のデータの 10 ギガバイトに制限される。

27. 保留。
28. ArcGIS Enterprise WorkgroupまたはArcGIS GIS Server Workgroup 以外のアプリケーションの同時使用はエンド ユーザー10名に制限される。この制約事項には、ArcGIS Desktopソフトウェア、ArcGIS Engineソフトウェア、およびArcGIS Enterprise WorkgroupまたはArcGIS GIS Server Workgroupジオデータベースに直接接続する第三者作製アプリケーションの使用が含まれる。ウェブ アプリケーションからの接続数に制限はない。
29. ソフトウェアには、サポートされるバージョンのSQL Server Expressが必要である。サポートされるバージョンは、製品のシステム要件とともにEsriウェブサイトに掲載されている。
30. 使用は、最大10GBの顧客のデータ容量に制限される。
31. フェイルオーバー ライセンスが含まれる。
32. 保留。
- 33-38. 保留。
39. ArcGIS GIS Server に含まれている編集機能は、ArcGIS GIS Server Basic および ArcGIS GIS Server Workgroup Basic での使用を許可されていない。
- 40-46. 保留。
47. 顧客は、顧客のエンド ユーザーに対し、Esri File Geodatabase APIを使用する付加価値アプリケーションを開発および配布することができる。
- 48-53. 保留。
54. ArcGIS for Windows Mobile デプロイメントは、ArcGIS Enterprise (Advanced または Standard)、ArcGIS Enterprise Workgroup (Advanced)、ArcGIS Desktop (Advanced、Standard、Basic)、および ArcGIS Engine 付加価値アプリケーションとの併用についてライセンスされている。
- 55-63. 保留。
64. ウェブ デプロイメント用の付加価値アプリケーションは、他の Esri 製品と併用しなければならないものとする。付加価値アプリケーションと他の Esri 製品を常に併用する場合に限り、付加価値アプリケーションとともに第三者の技術も使用できるものとする。
65. 他の Esri 製品とのみ併用できる。ArcGIS Earth と他の Esri 製品を常に併用する場合に限り、ArcGIS Earth とともに第三者の技術も使用できるものとする。
66. デスクトップ アプリケーションについては、各ライセンスは組織ごとのものである。このライセンスの目的では、**組織**は主要登録固有ドメイン ID と同等のものである。ドメインとはドメイン名登録業者に登録したインターネット ドメイン名のことである。たとえば、**example.com** という例で、**example.com** は登録固有ドメイン ID である。同様に、**example.com.xx** では **xx** が登録国コードで、**example.com.xx** が登録固有ドメイン ID である。デスクトップ アプリケーションは主要登録固有ドメイン ID の組織のいかなる社員でも利用できる。組織内で構築し、デプロイできるアプリケーション数に制限はない。
67. ジオコードは、1年のサブスクリプションにつき、2億5千万（250,000,000）件に制限される。

Online Services

以下のリストは、特定の **Online Services** に適用される追加の利用規約を示す。各製品項目は、かかる製品に適用される1つまたは複数の脚注を示す。各脚注の定義はリストの後に記されている。該当する注文関連ドキュメントで特に断りのない限り、ソフトウェアの機能拡張は、対応するソフトウェアに対して許可される使用範囲に準拠する。

- **ArcGIS Online** 開発者デプロイメントのサブスクリプションは、以下の複数の販売プログラムで入手可能である。
 - 商号販売、エンタープライズ契約、および政府プログラム
+ 無償サブスクリプション (1、9、10、13、16)
+ 有償サブスクリプション (1、9、10、11、13)
 - 教育プログラム (無償または有償サブスクリプション) (1、3、4、5、6、9、10、13、16)
 - NGO/NPO、プレス/メディア プログラム (無償または有償サブスクリプション) (1、3、4、5、6、9、10、13、16)
- **ArcGIS Online** のサブスクリプションは、複数の販売プログラムで入手できる。
 - 商業販売、エンタープライズ契約、および政府プログラム (1、2、3、11、12、14、17)
 - 教育プログラム (1、2、14、16、17)
 - 非営利プログラム (1、2、14、16、17)
- **Public Plan**
 - 商業販売、エンタープライズ契約、政府、NGO/NPO、プレス/メディア プログラム (1、4、5、6、7、9、10、15、16)
 - 教育プログラム (1、4、5、6、7、9、10、15、16)

脚注：

1. **ArcGIS Online** サブスクリプションを使用しない場合、顧客は、**World Geocoding** サービスによって生成されたジオコードで示される結果を保存できないものとする。顧客は、**Infographics** サービス経由でアクセス可能なデータを表示の目的にのみ使用でき、同サービスによってアクセス可能なデータを保存することはできない。
2. 顧客の組織におけるビジネス目的での使用が許可される。
3. 顧客の組織における開発および試験目的での使用が許可される。
4. 教育機関における教育目的での使用が許可される。
5. 顧客の認定されたNGO/NPO組織の便益を目的とした使用が許可される。
6. 報道機関の便益を目的とした使用が許可される。
7. 個人使用目的での使用が許可される。
8. 保留。
9. 共有ツールを使用して公的に共有することによってのみ、顧客は第三者による付加価値アプリケーションの使用を許可することができる。顧客は、自らの業務上の使用を目的として付加価値アプリケーションを稼働させるために本サブスクリプションを使用することはできない。ただし、顧客が、教育目的に限定して付加価値アプリケーションを使用する教育機関、認定されたNGO/NPO組織、または報道機関である場合を除く。
10. 顧客は、プライベート グループの作成またはプライベート グループへの参加を許可されない。
11. 顧客は、付加価値アプリケーションを第三者に有償で販売できる。
12. 顧客は、プライベート グループの作成またはプライベート グループへの参加のためにこのサブスクリプションを使用できる。
13. 各サブスクリプションは、顧客のサブスクリプションと併用で、月あたり 100 万 (1,000,000) 件の **Geosearch** トランザクションを上限として使用できる。トランザクションには、**Basemap** データと **Geocode Search** の両方のトランザクションが含まれる。1つの **Geocode Search** トランザクションは、1つの住所または場所に相当する。バッチ ジオコーディング後などに結果が保存された場合、その方法の如何にかかわらず、保存された結果はトランザクションの上限に対してカウントされない。ただし、ストレージはサービス クレジットを消費する。
14. 各サブスクリプションは、12 か月間で 5000 万 (50,000,000) **Geosearch** トランザクションを上限とする。1つの **Geocode Search** トランザクションは、1つの住所または場所に相当する。バッチ ジオコーディング後

などに結果が保存された場合、その方法の如何にかかわらず、保存された結果はトランザクションの上限に対してカウントされない。ただし、ストレージはサービスクレジットを消費する。

15. 登録された教育機関の学生に対し、教育目的に使用する場合に限り、**Online Services** に直接アクセスすること、および1つのサブスクリプションを複数の登録された学生で共有することを許可できる。
16. 顧客は、付加価値アプリケーションを第三者に有償で販売できない。
17. 指定ユーザーが **ArcGIS API for Python** スクリプトに自身の指定ユーザー資格情報を組み込むことができるのは、自身の指定ユーザー資格情報がスクリプトに組み込まれる当該指定ユーザーだけが使用するワークフローの自動化を目的とする場合に限られる。